

令和2年6月4日

第99回 神戸市個人情報保護審議会

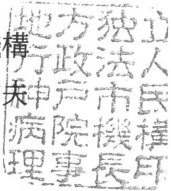
神戸市民病院機構における集中治療  
支援システムの導入について

(神戸市民病院機構)

神本部 第 73 号  
令和 2 年 5 月 28 日

神戸市個人情報保護審議会  
会長 西村 裕三 様

地方行政独立法人神戸市民病院機構  
理事長 橋本 信夫



諮問

神戸市個人情報保護条例第11条第1項及び第2項の規定に基づき、下記の事項について貴会の意見を求めます。

記

神戸市民病院機構における集中治療支援システムの導入について

(条例第 11 条「電子計算機処理の制限」に関して)

担当：地方独立行政法人 神戸市民病院機構  
法人本部経営企画室総務課・情報戦略課

神戸市民病院機構における集中治療支援システムの導入について

【 条例第 11 条「電子計算機処理の制限」に関して 】

※◎は条例第11条第2項に該当

【システム上のデータ項目】

電子カルテオーダリングシステム

- ◎ 患者基本情報：  
性別、年齢、職業、身長、体重、腹囲、居宅の状況、生活状況、食事状況（食事時間、食事内容、嗜好、食事制限の有無）、嗜好品（喫煙状況、飲酒状況）、常備薬の有無、歯の状態（義歯の有無、口の中の状態）、排泄状況（尿の回数、尿の性状、便秘・下痢の有無、人工肛門の有無）、感覚器障害（視力、眼鏡の有無、補聴器使用の有無）、その他（国籍等）
- ◎ 既往歴：年齢、罹病年月、期間、診断名・手術名、入院の有無・治療期間
- ◎ 主訴情報：主訴、症状
- ◎ 現病歴
- ◎ 転帰（治療前との病状の変化）
- ◎ 家族歴情報：続柄、性別、年齢、同居区分、病歴、二親等内の家系図
- ◎ 診療記録：病名、病状、治療内容、経過記録、指導記録－服薬・栄養・リハビリ・療養、退院サマリ（入院要約）、看護サマリ
- ◎ 感染症情報：結核、梅毒、ウィルス性肝炎、HIV
- ◎ 一般アレルギー情報：薬・食品に関するアレルギーの有無
- ◎ 介護情報：  
介護度、かかりつけ医、かかりつけ訪問看護ステーション、受けている介護サービスの内容、介護者の有無、介護者の健康状態
- ◎ 社会保障情報：身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳等の種類と級
- ◎ 紹介情報  
かかりつけ医から提供される診療情報、転院先・かかりつけ医へ提供する診療情報
- ◎ 分娩記録情報：  
分娩歴、分娩監視モニター情報、分娩進捗状況、使用薬剤、使用機器、出生時間、出生児体重、胎盤情報、母体情報
- ◎ 歯科情報：歯式情報、歯科診察情報、歯科病名情報、歯科検査結果情報、歯科検査名、結果数値
- ◎ 外来患者情報：診療科、来院日時
- ◎ 入院患者情報：診療科、入院日、退院日
- ◎ 各種オーダ情報：  
処方・注射オーダ内容、検査（検体・細菌）オーダ内容、輸血オーダ内容、病歴検査オーダ内容、画像生理検査オーダ内容、リハビリオーダ内容、食事オーダ内容、栄養指導オーダ内容、手術オーダ内容、人工透析オーダ内容、病名オーダ内容、汎用オーダ内容、パスオーダ内容
- ◎ 医事会計情報：  
入院・外来区分、DPC（診断群別定額払い）コード、手術名、手術所要時間、処置名、入院期間、使

用材料、処方薬剤、検査項目、指導項目、有償ベッドの有無、労災情報

#### <看護支援>

- ◎ 看護計画情報:療養上の問題点、看護判断内容、日常生活援助計画、患者の病状確認計画、結果
- ◎ 看護記録情報:看護オーダー項目の測定値・観察結果、日常生活援助項目の実施記録、患者の反応、医師の指示実施内容

#### <投与薬剤情報>

- ◎ 処方・注射:処方内容、注射薬内容、配合禁忌情報
- ◎ 服薬指導:指示内容、実施内容
- ◎ 薬剤禁忌情報:アレルギー情報
- ◎ 化学療法レジメン情報:病名情報、処方情報、プロトコル情報、検体検査情報

#### <検査(以下、いずれも画像データ含む)>

- ◎ 検査情報:検査内容、検体の種類、検査方法、検査結果数値、診断結果
- ◎ 生理検査:検査内容、検査方法、検査名、検査結果数値、診断結果
- ◎ 病理検査情報:検査内容、材料の部位・種類、検査方法、検査名、検査結果、診断結果
- ◎ 撮影情報:撮影部位、撮影目的、撮影内容、使用薬剤、撮影枚数、画像診断結果
- ◎ 内視鏡検査結果情報:内視鏡検査所見
- ◎ 各診療科単独検査結果情報:検査名、結果数値、診断結果

#### <輸血>

- ◎ 輸血情報:血液型、抗体情報、輸血歴、オーダー血液種類と単位数、輸血実施情報、副作用情報

#### <リハビリ・栄養>

- ◎ リハビリ情報:リハビリ種類、リハビリ内容、リハビリ目標、リハビリ関連検査の内容、リハビリ計画、リハビリ実施計画、リハビリ結果、リハビリ関連検査結果
- ◎ 食事情報:食種、食事制限内容、アレルギー情報
- ◎ 栄養指導情報:栄養指導指示内容、栄養指導実施内容
- ◎ 食物禁忌情報:アレルギー情報、内服薬との禁忌情報

#### <手術・人工透析>

- ◎ 手術情報:  
手術名、手術予定時間、麻酔方法、使用材料、使用機器、術中検査、術中放射線検査、輸血予定、麻酔内容、手術内容、生体情報モニター情報、出血量、輸血量、術中検査結果、麻酔覚醒情報、体内挿入物名・部位、手術後身体状況
- ◎ 人工透析情報:  
血液透析・血液浄化名、使用機材、使用薬剤、実施時間、回数、血液透析・血液浄化実施記録

# 神戸市民病院機構における集中治療支援システムの導入について

## 1. 趣旨

兵庫県・大阪府における新型コロナウイルス感染症(以下、「COVID-19」)患者が 2020 年 4 月中旬に急激に増大する危険性があるという厚生労働省の試算を受け、兵庫・神戸地域全体で COVID-19 患者のオーバーシュートに対する診療体制を構築する必要性に迫られている。特に、COVID-19 患者の診療・治療に対し、専門的なコンサルテーションを必要とする医師に対するフォローが大きな課題であると考えられる。

こうした医師へのフォローを実現するものとして、市内市民病院間において遠隔地からの集中治療支援システム(以下、「遠隔 ICU」とする)を導入し、COVID-19 患者に対し、適切な診療が行える医療環境を構築する。

## 2. 諮問概要

### (1) 診療録等の個人データの扱いについて

COVID-19 患者の診療を実施してコンサルテーションを受けようとする医療機関(神戸市立西神戸医療センター・神戸市立医療センター西市民病院)において、電子カルテ端末や生体モニター、医用画像の読影端末に表示される画像を、遠隔地のコンサルテーションを行おうとする神戸市立医療センター中央市民病院の医師が閲覧・確認するシステムを構築する。この画像には、患者の氏名や既往歴、医用画像(CT や MRI)など、当該医療機関が扱う全ての診療録が表示される可能性がある。

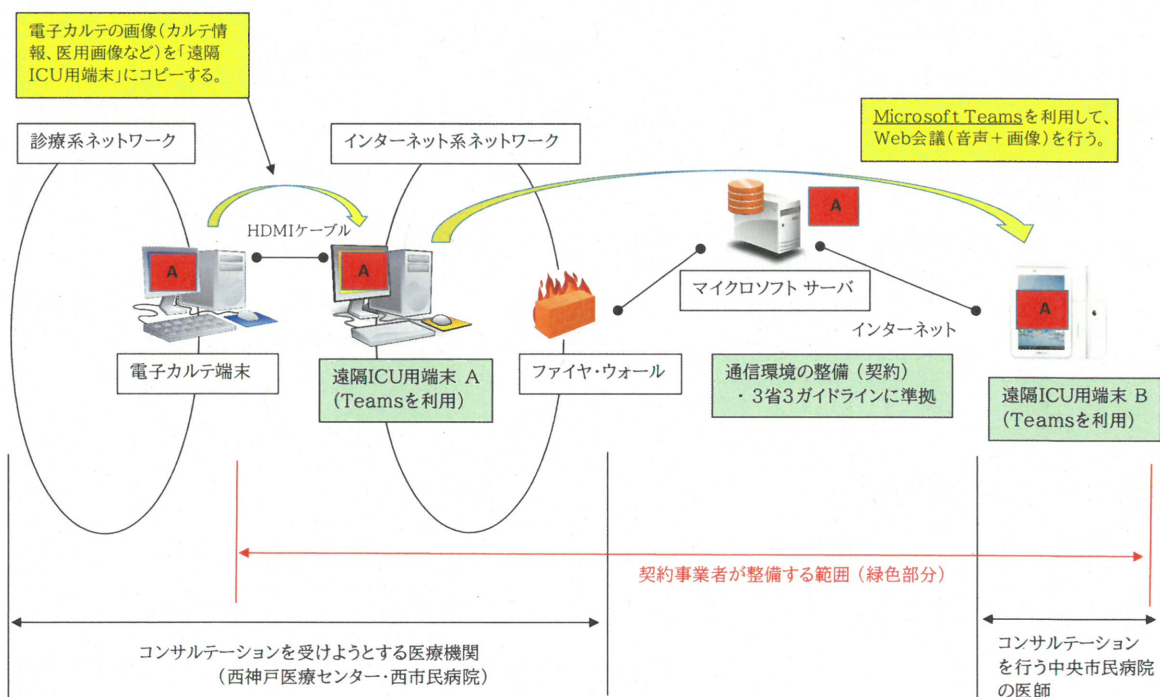


図) 遠隔 ICU のシステム構成図

(2) 遠隔 ICU における個人データの動きは、以下のとおりである。(下記は、上図の番号と対比)

- ① コンサルテーションを受けようとする医療機関(神戸市立西神戸医療センター・神戸市立医療センター西市民病院)において、院内の閉じた診療系ネットワークにある電子カルテ端末や生体モニターに、コンサルテーションしたい内容の画面を表示させる。
- ② ①の表示された画面データを、HDMI ケーブルを通じて遠隔 ICU 用端末 A のモニターにキャプチャーする。  
ここで、遠隔 ICU 用端末からは、このキャプチャーされた画像の加工等はいできない。
- ③ インターネット回線を通じて既定のベンダーが提供している Web 会議システム(※)を利用し、遠隔 ICU 用端末 A から、コンサルテーションを行う神戸市立医療センター中央市民病院の医師が持つ遠隔 ICU 端末 B へ、②でキャプチャーした画像を伝送する。  
(※ :今回は、Microsoft 社 Teams を利用する。)

### 3. 遠隔 ICU を導入する意義 (効果)

COVID-19 患者において、軽症でもなく、重症でもない、その中等症にある患者をどのように診療するか、どの病院で受入れを行うかが、医療機関の現場において課題となっている。

遠隔 ICU を用いれば、神戸市立医療センター中央市民病院の専門医による中等症の患者に対する迅速なコンサルテーションが可能となり、市民病院間で適切な医療体制が構築できる。

### 4. 実施計画

令和 2 年 4 月 COVID-19 患者のオーバーシュート対策のため、緊急避難的に本システムを運用

### 5. 個人情報の保護

本件に関し、「神戸市個人情報保護条例」、「神戸市民病院機構情報セキュリティポリシー」及び関係省庁から出されたガイドラインに基づき、以下のとおり、厳格に対処する。

#### (1) ガイドラインへの準拠

- ① 以下のガイドライン(最新版)に準拠したシステム構築、運用を実施する。
  - ・ 医療情報システムの安全管理に関するガイドライン(厚生労働省)
  - ・ 医療情報を受託管理する情報処理事業者向けガイドライン(経済産業省)
  - ・ ASP・SaaS における情報セキュリティ対策ガイドライン(総務省)

#### (2) システム上の対策

##### (ア) 遠隔 ICU 用端末について

- ① 関連するシステムにはウイルス対策ソフトを装備してシステム内にウイルスの侵入を未然に防止する。
- ② ウィルス対策ソフトは常に最新のパターンファイルに更新する。
- ③ 関連システムの操作状況を記録し、個人情報への不正なアクセスが行われていないか監視を行う。
- ④ コンサルテーションを行う神戸市立医療センター中央市民病院の医師用の端末(遠隔 ICU 用端末 B)については、紛失や盗難によるデータの漏洩を防止するため、MDM(モバイルデバ

イス管理)を実施する。

(イ) 遠隔 ICU 用端末間の接続

- ① 転送するデータはガイドラインに準拠した方式を用いて暗号化する。

(3) 運用上の対策

(ア) 事業者との契約

- ① 委託契約において、個人情報の取り扱いに関する事項を盛り込む。
- ② 遵守事項については定期的に監査し、個人情報を厳格に管理する。

(イ) 病院内の対策

- ① 個人情報の適正な取り扱いを確保するために、関係職員に対して必要な研修及び指導を定期・臨時で行うとともに、個人情報の適正管理について監査を毎年実施する。

以上